

# きんもくせい

病院だより

vol.138

令和6年  
12月号

## 家族性高コレステロール血症をご存知ですか？



▲共同研究をした掛川西高等学校の生徒(左から戸塚さん、望月さん、大石さん)と岩島医師

高コレステロール血症とは、血液中のコレステロールが正常範囲を超えて高い状態にあることを指します。コレステロールは、細胞の構成やホルモンの生成に必要な物質ですが、過剰に増えると血管の中に蓄積し、動脈硬化や心筋梗塞、脳卒中などの発症リスクが高まります。主な原因には、食生活の乱れや運動不足、遺伝的要因などがあります。

今回ご紹介する病気は、原因の1つである「**遺伝的要因**」により起こる、家族性高コレステロール血症です。この病気について、10月に「こどもの健康週間2024」に合わせて小

児科学会静岡地方会が主催して、市民公開講座を開催しました。講座の中では、掛川西高等学校の生徒と当院医師が行った共同研究「学童期の血清コレステロール値の地域差について」の成果発表も行い、主催した小児科学会静岡地方会から「特別賞」をいただきました。

家族性高コレステロール血症は早期発見と管理により、リスクを大幅に低減できる病気です。今号では一人でも多くの方にこの病気について知っていただくとともに、理解していただけるよう、小児科医師がわかりやすく解説いたします。



LINE 公式アカウント  
友だち募集中



掛川市・袋井市病院企業団立

中東遠総合医療センター  
CHUTOEN GENERAL MEDICAL CENTER



## 家族性高コレステロール血症 (FH) 当院の取り組みと地域全体で早期発見・予防に取り組む重要性 ～こどもの健康週間2024を通して～

副院長・小児科統括診療部長 いわしま さとる 岩島 覚

### はじめに

家族性高コレステロール血症 (FH) は、遺伝的要因によりLDLコレステロール (悪玉コレステロール) が異常に高い状態が幼少期から続く疾患です。放置すると若年で動脈硬化が進行し、心筋梗塞や脳卒中といった命にかかわる疾患のリスクが高まります。しかし、小児期からの早期発見と管理により、FHによるリスクを大幅に低減できる可能性があります。このため、国内で現在進行中の「脳卒中と循環器病克服第二次5カ年計画」(2021-2025年)では、FHのような遺伝的リスクを持つ疾患の早期発見と予防の重要性を強調しています。この計画は、地域医療や家族単位での予防措置を通じて、健康寿命の延伸を目指しています。

### ◆「脳卒中と循環器病克服第二次5カ年計画」とFH

この5カ年計画には、次のような重点項目が含まれており、FHの早期介入を支援する体制について記述されています。

1. **\*\*予防と啓発\*\***: FHに対する国民の理解を深め、小児期からの予防を促進するための啓発活動を行うこと。
2. **\*\*医療体制の充実\*\***: 地域医療機関との連携を通じて、かかりつけ医や専門医によるサポート体制を整え、小児期からの予防と管理が行いやすい環境を構築すること。
3. **\*\*データ収集と研究の強化\*\***: 日本におけるFH患者のデータを蓄積し、治療や予防方法の開発に活用すること。

このように、「脳卒中と循環器病克服第二次5カ年計画」は、FHの早期発見と予防を支援するための包括的な取り組みを行っており、小児期からの予防と家族単位でのアプローチが可能な体制を構築しています。

### FHの早期発見と予防の重要性

FHは、遺伝的に親から子へと引き継がれるため、家族全体の健康管理が重要です。特に小児期からの診断や治療が推奨されており、遺伝子検査や血液検

査を通じてリスクを早期に把握することができます。FHは通常、小児～青年期は無症状で進行するため、症状が現れたときにはすでに動脈硬化が進んでいることが多いです。このため、早期の段階でリスクを特定し、生活習慣の改善や適切な治療 (例: スタチンなどのコレステロール低下薬の使用) を行うことが重要です。小笠地区 (掛川市、菊川市、御前崎市) では学童生活習慣予防検診において小学4年生、中学1年生時においてLDLコレステロールを含めた血液検査が行われており、早期介入の観点から全国的にも注目されている地域です。

### 中東遠総合医療センターでの取り組み

#### ◆動脈硬化の早期評価 - FMDとIMT検査

FHによる心血管リスクを早期に評価するためには、動脈硬化の進行度を把握することが重要です。当院では、「血流依存性血管拡張反応 (FMD)」および、「頸動脈内膜中膜肥厚 (IMT)」といった検査を用いて、評価しています。FMDは血管の柔軟性を測定し、IMTは頸動脈の壁の厚さを測ることで、動脈硬化の進行状況を客観的に評価します。これにより、FHによる血管への影響を早期に把握し、リスクが高い患者には適切な治療が迅速に行える体制を整えています。また、当院では金沢大学や香川大学と連携し、FHの遺伝子検査研究 (研医233) を実施しています。これにより、小児期からFHのリスクが特定され、適切なフォローアップが可能となります。

#### ◆けいもう啓蒙活動

当院では、FHの知識と予防に関する啓発活動を行っており、10月13日には「家族性高コレステロール血症の知識と健康習慣—家族とこどもの未来を守る!」というテーマで特別講演会を開催しました。(特別講演会の内容は下のQRコード\*から視聴できます。) このイベントでは、掛川西高等学校との共同研究の成果発表も行われ、地域の皆さまにFHに関する理解を深める機会を提供しました。\*動画の視聴にはメールアドレスの登録が必要です。

この特別講演会は、家族単位での早期



予防と教育を目的としたもので、FHによるリスク軽減において地域全体で取り組むことの重要性が強調されました。特に、FHは小児期からLDLコレステロール値が高い状態が続くため、早期発見と管理が重要であり、家族内での遺伝的リスクも考慮する必要があります。

FHの早期発見は個人だけでなく、家族全体の健康を守り、地域社会全体の心筋梗塞や脳卒中などの疾患のリスクを減少させることにつながります。

当院は、地域の健康維持と家族全体の将来を守るために、FHの早期発見と予防を通じて、健康寿命の延伸に貢献していきます。



▲共同研究についての話をしている様子

## 看護部通信

### アレルギー疾患療養指導士 (CAI) が活躍しています

日本人の半数以上が何らかのアレルギー疾患を持っているといわれる中、アレルギー疾患に対する治療薬も進歩しています。しかし、いくら良い薬が処方されても正しく服用されなければ効果は得られません。治療が長期にわたるアレルギー疾患だからこそ、患者さまが治療の効果を十分に感じられるよう、正しい服用方法をお伝えしたり、アレルギー疾患の治療に対する相談を受けるなど、看護師として様々な関わりが必要です。

当院では、2021年に4人がアレルギー疾患療養指導士 (CAI) の資格を取得し、その後2024年に1人増え、現在5人のCAI看護師が活躍しています。CAI看護師のほとんどが、小児やアレルギー疾患をお持ちの患者さまが多く入院される病棟に在籍しています。喘息の患者さまには吸入の方法の指導、アトピー性皮膚炎の患者さまにはスキンケアの方法を細かく指導するなど、それぞれの患者さまに合った、正しい方法で治療が継続できるようサポートしています。

また、地域貢献の一環として近隣の学校と連携し、学校の先生方に対し、食物アレルギーの症状発生時に正しく対応ができるよう指導する活動も行っています。今年度は先生方を対象に、『食物アレルギーでエピペンを処方されている子どもが給食後に体調不良を起こした』という設定でシミュレーション研修を実施しました。

アレルギー疾患は一時的ではなく長く付き合う病気です。今後も地域の皆さまの“安心”のためにアレルギー疾患の治療に対する普及活動を続けていきたいと思っております。



▲シミュレーション研修の様子  
4階東病棟 水野絹代

## 産科の診療時間外の救急当直が一部当番制に変わります

令和6年4月から始まった医師の働き方改革に対応していくため、中東遠総合医療センターと磐田市立総合病院では、令和7年1月10日から、産科における金曜日の診療時間外の救急当直を当番制としていくこととしました。週ごとの当番病院は以下のとおりです。

なお、いずれかの病院で出産を予定しており、同病院に通院している妊婦さんは、これまでと変わらず当該病院での出産となります。

病院名	当番曜日	備考
磐田市立総合病院	毎月第1、3、5金曜日	17時～翌8時15分
中東遠総合医療センター	毎月第2、4金曜日	17時～翌8時15分

※今後当番制の当番曜日等は変更となることがあります。

問合せ先 経営戦略室 ☎0537-21-5555 (平日8:15～17:00 年末年始を除く)

## 第43回 医療市民講座－がん講習会－

参加無料  
どなたでも

- 日時** 令和7年1月18日(土) 午前10時00分～正午
- 場所** 当院3階大会議室(掛川市菖蒲ヶ池1-1)
- 定員** 120名(先着順)
- 演題**



- 1 「前立腺がんについて(仮)」講師:松本 力哉医師(泌尿器科診療部長)
- 2 「がん遺伝子パネル検査について(仮)」講師:鈴木 大介医師(病理診断科部長)
- 3 「がん相談と緩和ケアについて(仮)」講師:八木 純看護師(がん相談支援センター長)

- 申込み** 12月16日(月)から1月17日(金)午後5時までに電話、申込みフォームのいずれから。
- 問合せ先** 経営戦略室 0537-21-5555(代表)



詳細はこちら

## 2026年4月新卒事務職員向け 就職説明会のご案内

- 日時** 2024年12月24日(火) 午後2時から
- 場所** 当院3階大会議室
- 対象** 2026年3月に大学・短期大学・専門学校を卒業予定の方
- 内容**
  - ・医療業界や当院概要の説明
  - ・事務職員のお仕事紹介
  - ・職場見学(普段見ることができない場所にもご案内します)
  - ・テーブルトーク(若手職員との座談会)

- 申込み** 専用申込みフォームから
- 問合せ先** 管理課 職員係  
0537-21-5555(代表)



申込みはこちら

## 採用情報

会計年度任用職員(非常勤職員)を募集しています!

- 募集職種** 看護師・臨床検査技師・看護補助者・  
医師事務作業補助者



▲医師事務作業補助者



▲メディカルエイド

看護師、臨床検査技師は、勤務時間など働き方について相談に応じます。病院見学も随時行っています。お気軽にお問い合わせください。

- 問合せ先** 管理課 職員係 0537-21-5555(代表)



詳細はこちら

マイナンバーカードが  
健康保険証として  
利用できます!



※医療機関・薬局によって開始時期が異なります。  
利用できる医療機関・薬局については、ステッカーやポスターが目印です。

**ご注意ください!** 本年12月2日から発行の健康保険証は発行されなくなります。  
利用登録がまだの方は、手続きをお早めにお願います。

●当院受診の際には、マイナンバーカードをご持参ください。●

## 10月の 診療実績

1日あたりの患者数	
入院	408人
外来	1,140人
紹介率	88.1%
逆紹介率	98.8%
病床利用率	81.6%
平均在院日数	9.2日
手術件数	590件
救命センター受診数	1,451人
救急搬送件数	528件



外来担当医表  
こちらから



病院だより「きんもくせい」は、中東遠総合医療センター、掛川・袋井両市役所及び一部の市内公共施設にて無料で配布しております。

ホームページ <https://www.chutoen-hp.shizuoka.jp/>

過去の病院だよりをホームページでご覧いただけます。 [中東遠](#) [Q検索](#)

スマートフォン・タブレットからアクセスする際にはQRコードをご利用ください



〒436-8555  
掛川市菖蒲ヶ池1番地の1  
TEL 0537-21-5555

